

2024年4月9日

回収拠点の増加により、年間の総利用回数は1,500万回以上 セブン-イレブン店舗のペットボトル回収機設置を拡大 2023年度で総設置台数は34都府県で3,673台

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、セブン-イレブン店舗へのペットボトル回収機の設置に継続して取り組み、ペットボトルの循環型リサイクル「ボトル to ボトル」を推進しております。

セブン-イレブンでは、2017年12月以降、全国各地の自治体や様々な企業をはじめ、加盟店オーナー様や地域の皆様のご理解とご協力のもと、店頭へのペットボトル回収機の設置と活用を進めております。2023年度は新たに9県と、すでに設置している都府県内でも追加設置することで、総設置台数は昨年から1,013台増の3,673台となりました（2024年2月末現在、34都府県）。身近なセブン-イレブンが回収拠点になることで多くのお客様にご利用いただいております。年間の総利用回数は1,500万回を超えました。今後も回収機設置を推進し、ペットボトルの資源循環を促進するため、2024年度においてもレジ袋の「本部収益相当額」を活用^{*1}し、さらに1,000台の追加設置を目指してまいります。

セブン-イレブンはこれからも、地域のお客様をはじめとした、さまざまなステークホルダーの皆様のご理解、ご協力のもと、環境配慮の取り組みを推進してまいります。

^{*1} 2021年度以降、レジ袋の販売による「本部収益相当額」を設置費用等の一部に活用。
2023年度のレジ袋の販売による「本部収益相当額」は、約8億8,000万円となります。

◆ペットボトル回収機設置店舗一覧 https://www.sej.co.jp/csr/recycling_list.html



回収機設置エリア【1都2府31県】 ※設置順

東京、埼玉、沖縄、茨城、神奈川、千葉、静岡、三重、京都、兵庫、岡山、広島、福岡、宮城、福島、栃木、愛知、滋賀、奈良、大阪、愛媛、香川、佐賀、長崎、大分

2023年度新規設置エリア（9県）

山梨、長野、群馬、和歌山、徳島、高知、熊本、宮崎、鹿児島

セブン&アイグループのペットボトル回収機 2023年度実績

ペットボトル回収機設置台数：4,187台（累計）

※内、セブン-イレブン：3,673台（累計）

ペットボトル回収量：約5億本 / 約13,100t

〈ご参考〉セブン&アイグループが取り組むサーキュラーエコノミー

【セブン&アイ・ホールディングス YouTube 公式チャンネル】 <https://youtu.be/c0rgRqx5vBY>

以上